学校番号	3009

令和８年度　工業科（建築系）

教科	工業科（建築系）	科目	(学)建築基礎	単位数	3単位	年次	1年次（後期）
使用教科書	なし						
副教材等	プリント（学校作成）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

軸組模型の製作や木工を通して、建築構造に必要な各部の名称等、構造物に作用する力を理解し、建築物の安全検討を行う力の基礎を身に付けましょう。工業技術基礎で学んだ透視図法の発展として、立体表現と自然環境の基礎を考えながらパース着色実習を実施してください。

講義では建築構造、建築構造設計、建築計画（環境・設備）の基礎を学びます。次年度以降の建築構造、建築構造設計、建築施工、建築計画、建築法規につながる基礎になるため、各建築用語と意味を理解しましょう。

2　学習の到達目標

(a)建築の基礎的な技術を習得し、興味・関心を高め基本的な知識・技術を身に付ける。
(b)建築物の基本的な構造の役割を理解し、模型やパース技法等を用いて表現することができる。
(c)建築計画、建築構造、建築構造設計の建築物に関わる外的要因と構造物の成り立ちについて関心を持ち、主体的に取り組む態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築基礎に関する基本的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	建築基礎に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	建築基礎に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	軸組模型	ヒノキ棒を使った軸組模型の製作をしながら説明を行い、木造軸組在来工法の構造について理解する。また、各部材の名称と役割を理解し、立体的な構造計画ができる基礎能力を育成する。	a：建築模型に関する基本的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b：建築模型に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 c：建築模型に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。	提出プリント 課題作品	 課題作品 振り返りシート	 授業観察 振り返りシート
	パース実習	自然環境の基礎を考えながらパース着色を実施する。陰影の効果を理解することで、より立体的な色彩デッサンのしくみを理解し立体表現する技術を育成する。	a：パースに関する基本的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b：パースに関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 c：パースに関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。	課題作品	課題作品 振り返りシート	授業観察 振り返りシート プレゼンテーション

	木工	棚キットの製作を通して、木材の性質や加工技術、道具の使い方を学習し作製する。	a：木材加工に関する基本的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b：木材加工に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 c：木材加工に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。	授業観察 課題作品	授業観察 課題作品	授業観察
	建築計画	自然環境と建築物の関係、建築に関する設備の基礎力を身に付ける。	a：建築計画に関する基本的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b：建築計画に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 c：建築計画に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。	確認テスト	授業観察 提出ノート	授業観察 提出ノート

	建築構造	木造、S造、RC造の各部名称と基本的な役割を理解する。	a：建築構造に関する基本的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b：建築構造に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 c：建築構造に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。	確認テスト	提出ノート	授業観察 提出ノート
	建築構造設計	力の働きとモーメントを理解し、単純梁、片持梁の反力計算を習得する。	a：建築構造設計に関する基本的な技術を身に付け、合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 b：建築構造設計に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 c：建築構造設計に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。	確認テスト	提出ノート	授業観察 提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度